



はね馬

妙高市立新井中学校
学校だより

No. 262

令和3年7月28日(水)

『東京オリンピック、パラリンピックがもたらすもの』

校長 村井 友明

紆余曲折の末、開催が決定した東京2020オリンピック・パラリンピックが7/23から始まりました。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、パンデミックの中行われる、今までに誰も経験したことのない大会となりました。実施の有無については様々な方面からの議論もありましたが、開催が決定した以上、オリンピックのもつ価値や魅力を生徒には存分に味わってほしいと願っています。

オリンピック開催が決まり準備が進められる中で、日本の様々な問題や課題が浮き彫りとなり、世界に通用する世界基準で見直されてきました。このことだけでも開催する意義が大いにあったと考えます。大きな出来事では、オリンピックの開会式等の音楽担当が、学生時代に同級生や障害者をいじめ

ていたことが問題となり急遽辞任したこと。大会組織委員会の森喜朗前会長が女性軽視とも取られる発言をしたことで辞任に追いやられたこと。開閉会式の演出の総合統括を務めるクリエイティブディレクターが、人気タレントの容姿を侮辱するようなプランを提案し、辞任したことなどが記憶に新しいところです。多様性と調和を理念に謳うオリンピックにおいて、いじめや女性軽視、人権軽視と思われるこれらの行為は、世界基準からかけ離れたものとして世論が認めませんでした。残念な出来事でしたが、世界基準が日本の在り方を変えた出来事でもありました。しかし、日本には世界から賞賛されている多くの優れている点も多くあります。礼儀正しさや公共心、マナー、道徳性の高さ、辛抱強さと助け合い、もったいないといった心などは、外国に向けて堂々と胸を張れるところです。(最近、東京等では外飲みと称する飲み会が行われ、その後に空き缶やゴミが散乱しているところは残念で仕方ありませんが...)これらの優れているところと世界基準が、日本をもっともっと海外からうらやまれる国に成長させてくれると信じています。

さあ、世界中から集まった超一流の選手たちが、私たちにどんな感動や勇気、夢を与えてくれるのかワクワクが止まりません。選手の活躍に精一杯の声援を送りましょう。

オリンピック・パラリンピックは、開催期間に紛争地域でも休戦が提唱されるなど「平和の祭典」として意義付けられています。日本にとって終戦76周年を迎える8/15の終戦記念日は忘れてはならない日となります。今の平和な生活は、先人の大きな犠牲の上に成り立っています。平和を愛する気持ちを大切にしたいと、沖縄全戦没者追悼式で朗読された「平和の詩」を題材に社会科等で学習しました。是非、家庭や地域でも、生徒と共に8/15は平和を祈りながら迎えてほしいと願っています。一学期、大きな事故もなく無事に終えることができました。皆様のご支援のおかげと心から感謝申し上げます。二学期もどうぞよろしくお願いいたします。



躍動、上越地区各種大会！

陸上競技部



高田城址公園陸上競技場

<男子>

200m	7位	中川結太
400m	2位	中川結太
	8位	秋山孟彦
1500m	8位	宮腰 陽
100mH	1位	市村太郎
	8位	稲生雄我
走高跳	2位	片 雅仁
走幅跳	7位	安原千太
共通 4×100m リレー	1位	城戸結希・中川結太・ 片 雅仁・市村太郎
低学年 4×100m リレー	5位	伊藤叶智・米持 響・ 丸山遼太・釜田 優

<女子>

100mH	2位	中村えりな
走幅跳	3位	古川紗彩
共通 4×100m リレー	4位	鷲澤 結・中村えりな・ 古川紗彩・西脇花琳
低学年 4×100m リレー	8位	古川千里・新井未知琉 樋口志音・宮下蒼空



※低学年リレー以外 県大会出場

男子バスケットボール部



はね馬アリーナ他

予選トーナメント

新井○ 72-41 ×春日
新井○ 56-50 ×瑞穂

決勝リーグ

新井× 53-57 ○城北
新井○ 51-31 ×城西
新井× 47-60 ○鏡が沖

3位 県大会出場ならず



女子バスケットボール部



清里スポーツセンター

予選トーナメント

新井○ 48-19 ×浦川原
新井× 36-52 ○北条
県大会出場ならず



男子ソフトテニス部



上越総合運動公園テニスコート他

【団体戦】

新井○ 3-0 ×柏崎東
新井○ 2-1 ×柿崎
新井× 1-2 ○柏崎二 予選リーグ敗退

【個人戦】

全ペア惜敗

県大会出場ならず

女子ソフトテニス部



上越総合運動公園テニスコート

【団体戦】

新井× 0-3 ○頸城
新井× 1-2 ○城北
新井○ 2-1 ×瑞穂
予選リーグ敗退



【個人戦】

全ペア惜敗

県大会出場ならず

剣道部



謙信公武道館

男子団体戦 3位 県大会出場
女子団体戦 3位 県大会出場
女子個人戦 3位 小島 恋奈

5位 増村奈々子
5位 太田 華子

※個人戦県大会出場 3名



サッカー部



新井総合公園屋外球技場

予選リーグ

頸城○ 1-0 ×新井
城西○ 3-1 ×新井



体操部



上越市大湯体操アリーナ

【男子】

団体総合 3位 県大会出場

【女子】

団体総合 4位 県大会出場

個人総合 7位 加藤結菜

種目別

跳馬 7位 加藤結菜
平均台 5位 加藤結菜
ゆか 7位 加藤結菜
段違い平行棒 6位 加藤結菜
7位 小平あこ
8位 木村紗菜

※個人総合県総体出場 8名

軟式野球部



新井総合公園野球場他

2回戦 柏崎第五× 0-18 ○新井
3回戦 糸魚川○ 6-5 ×新井
県大会出場ならず



第四北越銀行旗争奪新潟県少年野球大会(5月実施)

【上越地区予選】

2回戦 北条× 0-7 ○新井(5回コールド)
3回戦 直江津× 0-7 ○新井(5回コールド)
ブロック決勝
清里× 0-5 ○新井

【県大会】

1回戦 宮内× 0-14 ○新井(5回コールド)
2回戦 新井○ 6-2 ×坂井輪
準決勝 新井× 1-2 ○吉田 3位入賞

男子バレーボール部



能生体育館

新井× 0-2 ○城東
新井× 0-2 ○糸魚川
新井× 0-2 ○春日
新井× 0-2 ○能生
県大会出場ならず



女子バレーボール部



リージョンプラザ上越

決勝トーナメント

2回戦 新井○ 2-0 ×直江津東
3回戦 新井× 0-2 ○刈羽
ベスト8 県大会出場ならず



卓球部



上越総合体育館他

【男子】

団体戦 決勝トーナメント2回戦 惜敗
個人戦 全ペア惜敗

【女子】

団体戦 予選リーグ4位
個人戦 女子シングルス ベスト16
有田嶺奈（3年）県大会出場

柔道部



妙高市総合体育館

【男子】

個人戦3位 田中広太
県大会出場



特設バドミントン部



板倉中学校

【男子】

ダブルス1位
小林賢吾・小林悠也
県大会出場

【女子】

シングルス3位
平野汐来 県大会出場



特設新体操部



ジムリーナ

種目別

クラブ 6位 吉田 滋
リボン 1位 吉田 滋
個人総合3位 吉田 滋 県大会出場

水泳部



上越市民プール

【男子】

50m自由形

3位 吉澤 蓮

4位 橋詰拓武

8位 水口弘彰

100m自由形

4位 諸橋大地

6位 吉澤 蓮

200m自由形

3位 諸橋大地

5位 植木陸斗

100m背泳ぎ

7位 黒石琉丞

1位 貫和志成

200m背泳ぎ

7位 榎本脩斗

100m平泳ぎ

2位 貫和志成

100mバタフライ

8位 丸山陵太

4位 植木陸斗

5位 後藤巳槻

200m個人メドレー

8位 後藤巳槻

4×100mフリーリレー

2位 榎本脩斗・植木陸斗・

諸橋大地・吉澤 蓮

4×100mメドレーリレー

2位 貫和志成・諸橋大地・

榎本脩斗・吉澤 蓮

【女子】

100m自由形

4位 福田莉瑚

200m自由形

5位 相羽紗那

100m背泳ぎ

7位 古川 岬

100m平泳ぎ

6位 諸橋美空

7位 貫和ほの花

200m個人メドレー

6位 相羽紗那

4×100mフリーリレー

3位 福田莉瑚・相浦亜璃朱・

古川 岬・相羽紗那

4×100mメドレーリレー

5位 古川 岬・貫和ほの花・

相羽紗那・福田莉瑚

※入賞者は県大会出場



上位大会の結果につきましては、次号にて報告いたします。

熱い応援、ありがとうございました!!

体育祭スローガンが決定!!

6月号で紹介しましたが、生徒会の総務委員から今年度の体育祭で大切にしたいこと（「不撓不屈」、「つながり」、「感謝」、「プライド」）が示されました。それを受けて、7月初めに行われたアンケート調査を基に、スローガン案が4つ示されました。そして、その4つの案の中から全校の投票によって、決まったものが、右上のスローガンです。このスローガンの下、現在、体育祭に向けた準備が着々と進められています。

今年の体育祭は、9月5日（土）に行います。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、以下の形式での実施となります。

- ①時間にゆとりをもたせた日程の設定
- ②3密にならないように考慮した競技や応援の実施
- ③観客数の制限（※今年度も、3年生の保護者の方のみ、観戦可とする方向です。）

いつもより知恵を出し、時間をかけ、準備を万全にして当日を迎えたいと思います。詳細な御案内は、後日お届けいたします。現在の社会の状況を踏まえた運営であることを御理解いただき、御協力をお願いいたします。

令和3年度 体育祭スローガン

「そこに絆はあるんか！」

～新井中愛 密です！～



体育祭リーダー集会の様子

「不撓不屈」の精神は、毎日の睡眠から!!

新井中学校では「不撓不屈」や「逞しい心と体をつくる」ことを大事にしています。

そこで、第3回ミニ班会議（7月8日）では「朝スッキリ気持ちよく起きよう～不撓不屈の精神は毎日の睡眠から～」をテーマに、保健委員が中心となり進めていきました。

仲間とのシェアリングタイムでは、「寝る前にスマホやゲームをしていて寝る時刻が遅くなる」「朝になっても「なかなか起きられない」、登校しても「授業中眠くなる」こんな声が多数聞かれました。この現実を打破するために考えたワンポイントアドバイスは、

- 家に帰ったらやるべきこと（宿題、課題）を先にやっておく
- スマホやゲームを持ち込まず布団に入る
- 朝ご飯をしっかりと食べる

親も子も「分かっているけど・・・」と理想で終わらないよう、日常生活の中でその姿が見られるよう、できることから始めていきましょう。

これから夏休みに入ります。自分の生活を自主的につくり上げる上で、今回の学びを生かすチャンスです。暑さに負けず、逞しい心と体をつくっていきましょう。



斐太北小学校様より、書籍を寄贈いただきました。

斐太北小学校様より、書籍「ふるさとの歩み わたしたちの斐太北」を寄贈していただきました。斐太北小学校の学校運営協議会の委員さんを中心に作成され、地域の歴史や伝承、方言などが大変分かりやすくまとめられていました。図書館に配置するとともに、総合的な学習の時間や社会科の地域学習で活用させていただきたいと思います。ありがとうございました。



地域の良いところ紹介発表:1年生

1年生では、7月2日(金)に総合的な学習で、自分たちが住む「地域のいいところ紹介」の発表を行いました。

6月から、自分たちが住む地域の良いところをリサーチし、それらを分かりやすく、楽しく紹介するために準備を進めてきました。生徒たちは、自分たちで話し合い、方向性を決定しながら活動を行ってきました。

模造紙に写真を貼って紹介するグループやタブレットのプレゼンテーションソフトを使って発表するグループなど様々でした。また、楽しい説明にするために、三択クイズを使って、クラス参加型の発表にしたグループもありました。

それぞれのグループの発表に特色があり、また、紹介する内容も写真を用いていて分かりやすく、興味を引く情報がたくさん紹介されていました。地域の良いところを理解し、故郷を愛する大人に育ってほしいと思います。



地域クイズに参加する生徒たち

人権学習で「いじめ」を考える:2年生

2年生では、6月30日にいじめを題材とした人権学習を行いました。題材は以下の通りです。

新聞の投書欄の記事。ある女性が小学校の頃にクラスメイトにいじめをしていた過去を悔やむ。いじめのきっかけは「笑いかけられたことが気に入らなかった」ことで、同じグループに入れたくない、という身勝手なものだった。集団で取り囲み、鉛筆の削りかすを頭からふりかけ、「きたない」と笑って罵る…20年以上が経ち、「謝りたい」という加害女性の思いを伝えるため、新聞社が被害者女性を訪ねる。しかし被害女性は今

は結婚しており、「辛い過去を思い出したくない」と、その申し出を断るのであった。

授業を通して生徒が考えたことを以下に示します。

- いじめは、被害者の人の心を痛めつけて一生残る傷になるし、いじめをしている人もその時は楽しさがあるかもしれないけど、大人になってから、自分も後悔する。
- たとえ毎日楽しかったとしても「ふっ」とした瞬間に嫌な怖い思い出がよみがえってくるのだと分かりました。
- 「この程度がいじめ？」そう思っているけど相手を傷付けることには変わりがない。
- 自分だったら…ということを考えて、人と付き合っていかなければならないと思った。
- 一瞬一瞬の自分の行動に責任をもたなければいけないと思いました。
- その人の人権を否定していることと同じで、どんなに軽い気持ち、気に食わないからと言って簡単にしてはいけないと思った。
- 人権学習は1回以上した方がいいと思った。いじめについて深く考えられるし絶対にしてはいけないことだと分かる。大人でも子どもでもいじめをする人はいると思ったし、気付かない所でいじめをしているかもしれないと思った。



真剣に考える生徒たち

いじめる側、いじめられる側、防ぐために…など、様々な視点から建設的に考えました。自分自身の行動や気持ちを振り返ること、相手の気持ちを考えることの大切さを学ぶ機会となりました。

平和学習「みるく世の謳(うた)」:1~3年生

1~3年生のすべての学級で、平和学習を行いました。終戦から76年、日本の平和を考えると、忘れてはならないことや知らなくてはならないことがたくさんあります。多くの犠牲の上に今の平和があることを忘れてはいけません。今回は、沖縄戦にスポットを当て、「ひめゆり部隊の語り部」と沖縄戦没者の追悼式での宮古島市立西辺中学校2年生上原美晴さんの自作の詩「みるく世(ゆ)の謳(うた)」の朗読の動画を見ながら学習しました。現在の日本は、人口の8割が戦争を知らない世代です。事実を正しく知る努力をして、戦争経験者の想いを受け止め、平和な世界を構築していく決意が大切です。平和について考える8月。ご家庭で地域で語ってみませんか？



3年1組社会の授業の様子

[illegible]

※ 行事・部活動実施については、7/28(水)現在のものです。今後の状況によっては、予定が変更になる場合があります。変更のある場合には学年たより等を通じて連絡させていただきます。

